



## 第3回受賞作品

平成元年



### グランドメゾン帝塚山 (分譲)

阿倍野区西南部の市内でも数少ない閑静な住宅地に、高さを抑えた低層のマンション。レンガ色のタイルと銅板葺等の欧風の外観が、中小の木々の緑と調和して、落ち着いたたたずまいを醸成している。

東西両棟の間に、地下駐車場に通ずるスロープを設け、その両側にエントランスがある。降り口の両脇にある3本のくすの大木が、入口の象徴として印象的である。

周辺道路より掘り下げられたロビーは、ゴージャスな絨毯敷きで、カーブしたガラス越しにサンクンガーデンの緑が展開し、明るく開放的な雰囲気をつくっている。

東西に棟を分割して住戸の独立性を高め、そのうえ各戸の玄関前には専用ポーチを設けて戸建感覚を演出している。

17戸の住戸は1~5LDKの7タイプで、それぞれ個性的なプランになっている。また、床は380mm、界壁は240mmの防遮音構造で、居住性の向上に努めている。

現在の平均的市民生活からの遊離感是否めないが、帝塚山というイメージに調和した優雅な雰囲気をただよわせ、土地利用の点からも望ましく地域の発展に添うものとして評価したい。



- 所在地：阿倍野区北畠2丁目
- 事業者：積水ハウス(株)
- 設計者：積水ハウス(株)
- 施工者：(株)藤木工務店

7



### 武田淀川ハイム (社宅・寮)

淀川区の神崎川沿い1ヘクタールちかくの倉庫等跡地に、高層の共同住宅が3棟、対岸からの遠景の中にすっきりとした姿を見せている。

神崎川とその緑道を活かし、広いオープンスペース、駐車場、手入れの行き届いた芝生とゆとりのある配置計画がなされている。

建物は奥深いバルコニーで陰影をつけ、タイル色をはじめ外壁から室内にいたるまでカラーコーディネートされて落ち着いた風情をただよわせている。

家族棟は、吹き抜けにより、各住戸の通風を、また、建物を雁行配置することによって採光を確保している。4LDKで、戸当たり床面積94㎡。収納スペースも多くゆとりを感じさせ、これまでの<社宅>のイメージを払拭している。

単身者棟も35㎡と広く、各戸にミニキッチン等を配し、2階には明るくゆったりとした食堂、談話室を設けるなど単身者の生活がより快適になるよう配慮されている。

最近の地価高騰の中で、一般の勤労者にとって、個人での住宅の入手は一層困難なものとなってきているし、職住近接の解決策としても社宅が見直されつつある中で、魅力ある《社宅》づくりで周辺地域一帯の発展にも、大阪のハウジングのレベルアップにも資するものとして評価したい。



- 所在地：淀川区新高6丁目
- 事業者：武田薬品工業(株)
- 設計者：(株)日建ハウジングシステム、(株)竹中工務店
- 施工者：(株)竹中工務店

8



### 森之宮 スカイガーデンハウス (賃貸)

大阪の中心「大阪城公園」の南東。JR大阪環状線「森ノ宮」の東に位置し、北側の中央大通り及び阪神高速東大阪線に面する敷地に建てられた複合型都市集合住宅である。

外観はタイル、金属パネル、コンクリート打放し、吹き付けタイル等の多様な仕上げによるコンビネーションで、鈍いピンク色や控え目なブルーの直線でもって、前衛的スタイルがほどよくこなされ、個性的な姿を見せている。

各戸は1Kから4LDKまでの住戸バリエーションをそなえ、多様なニーズに応える都市型の賃貸住宅とするなど、斬新で多様な集合住宅の出現といえる。

この建物の個性的なデザインは、地域のランドマーク的な意味を持つとともに、5階に中庭形式の屋上庭園を設け環境空間を内包し、語り、食べ、遊ぶための空間を下層の施設に設けるなど、建物全体が1つの“マチ”を形づくっている。

今後の大阪市内の商・工混在の地域における複合型都市集合住宅を示唆する意欲に富む優れた作品であり、都市内部における空間の高度利用に向かう提案として、その意義をかいたい。



- 所在地：東成区中道1丁目
- 事業者：(株)アーバネックス
- 設計者：(株)遠藤剛生建築設計事務所
- 施工者：(株)竹中工務店

9